

令和7年度使用第9地区教科用図書決定理由

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会

第9地区に送付された教科用図書見本本並びに教科書編集趣意書、北海道教育委員会作成の採択参考資料、第9地区教科用図書調査委員会作成の調査研究報告書並びに各調査委員会委員長への質疑等をもとに、第9地区教科用図書採択教育委員会協議会において総合的に審議を行い、令和7年度から使用する教科用図書について、次の理由により全会一致で決定した。

中学校教科用図書

国 語	国 語	<p>・各者とも工夫されており、中でも光村図書は、二次元コードからドリルや朗読など多様な展開をしたり、さらに他教科とのつながりを明確にしている。とりわけ言葉をテーマにした教材や語彙・語感を磨く教材が設定され、言葉に関する興味・関心が深まるよう工夫されており、更に各教材の「振り返る」では自分の言葉で学びを価値づける場が設けられているなど「主体的に学習に取り組む態度」が育まれるよう工夫されている。これらのことから、今、子どもたちに求められている力を幅広く身につけさせる学びができるようにまとめられている光村図書がより優れていると考える。また、学習指導要領の改訂がなされない中での教科書の変更には学校現場も混乱が予想されるところであり、さらに義務教育学校や小中連携・小中一貫校が増えている中、小学校と中学校の教科書のつながりを無視できないという観点からも、引き続き光村図書が良いと思う。</p>
	書 写	<p>・各者とも工夫をされており、調査・研究結果からも大きな差はないという印象。その中でも学習のポイントを示す「学びのカギ」や課題解決のヒントを与えるキャラクターなど、紙面を構成する要素の役割が明確で、主体的学習の手助けとなるよう配慮されている点では、光村図書がより優れているものとする。また、学習指導要領の大幅な改訂がなされない中で、書写は活動そのものは違うが、国語と深いつながりがあるため、国語との連動を考えると、教科書の変更には学校現場も混乱が予想されるところであり、さらに義務教育学校や小中連携が増えている中、小学校と中学校の教科書のつながりを無視できないという観点からも、引き続き光村図書が良いと思う。</p>

社 会	地 理 的 分 野	<p>・地理の教科用図書の発行者は、4者であり、それぞれに学習意欲を高め、主体的に学習に取り組む工夫が見られ、内容に大きな差は見受けられなかった。その中で、導入部分で・学習の見通しや見方・考え方を提示することで、学習の始まりの意識付けの役割を明確にし、生徒の関心を引く工夫があることや学びや資料の活用を支援する学習コーナーを設けたり、社会への関心を高め、自ら行動していかうとする態度を涵養できるページが充実しているので、地理・歴史・公民の各分野の学びを関連させて、社会をより深く理解することができる内容と構成になっていることから、教育出版を選定するのが良いと考える。</p> <p>・教科書4者とも学習意欲を高め主体的に学習に取り組めるようになっており、内容においては大きな差は見られなかった。4者の中で教育出版は、「アイヌの人たちの歴史文化」等を取り上げているページ、「北方領土」に関する内容を取り上げているページ、「道内の市町村」を取り上げている場所数は、ほかの会社よりも一番多くなっている。地理・歴史・公民の各分野の学びを関連させ社会をより深く理解することができる内容・構成となっている。身近な地域から社会を考慮することができる教材内容となっており、課題解決に取り組むことができる内容が充実していると思う。小学校から高等学校までの学びのつながりを意識した内容となっていることから、教育出版を選定すべきと考える。</p>
	歴 史 的 分 野	<p>・各者とも内容においては大きな差はないが、帝国書院が良いと思う。イラスト資料やイラスト地図の充実が工夫されており、生徒の学習意欲を高めるような工夫が非常に施されていると受け止めている。また、SDGsと歴史の関連を意識できるような特設コラムを設け、環境保全や自然災害の学習も十分できるように工夫されている。北海道に関わりのある内容も多く取り上げ、こういったところも非常に良い教科書かなと感じる。そして、世界のなかでの日本の歴史背景を掘り下げやすいような配慮がされており、総合的な評価として帝国書院が良いと思う。</p> <p>・各者とも学習意欲を高め主体的に学習に取り組める工夫がみられており、内容においては大きな差は無い。人々の営みが体感できるイラスト資料、イラスト地図により生徒の学習意欲を高め時代の特色がわかりやすくなっていること。世界の歴史がイメージできるという形になっている。また、資料も充実しており、多面的・多角的に日本の歴史をとらえる様々な工夫がされている。世界の中で日本の歴史背景も掘り下げやすい配慮がなされている。また、日本のあゆみと世界の動きを様々な視点から、学べる教科書として帝国書院を選定してはと思う。</p>
	公 民 的 分 野	<p>・4者とも学習意欲を高め主体的に学習に取り組める内容になっていると見受けられる。内容においては大きな差はみられないが、教育出版が良いかなと思う。地理・歴史・公民の各分野の学びを関連させ社会をより深く理解することができる内容構成となっている。身近な地域から社会を考慮することができる教材内容となっており、課題解決に取り組むことができる内容がとても充実していると考えられる。小学校から高等学校までの学びのつながりを意識した内容構成となっていることから、教育出版を選定すべきと考える。</p> <p>・教育出版が良いと思う。導入部分で学習の見通しや見方・考え方を提示して、学習の始まりの意識づけの役割を明確にしており、生徒の関心を引く工夫がある。また、社会への関心を高め、自ら行動していかうとする態度を涵養する頁が充実している。北海道に関わりのある内容も多く取り上げており、地域に関心を持つことができるような工夫があるなど、総合的な判断として教育出版を選定したい。</p>

<p style="text-align: center;">地 図</p>	<p>・地図の教科用図書の発行者は2者で、内容に大きな差はないが、帝国書院を選定するのが良いと考えている。選定理由の一番には、見やすさの工夫が挙げられる。絵記号のデザインやレイアウトの統一化が図られ、鮮やかな印刷で目に優しく、明るくとても見やすい地図帳。世界と地域の特徴が捉えやすく、迫力ある鳥瞰図も世界への関心を引き出すものになっている。また、自然災害や防災への意識を高められる資料も充実していて、SDGsについて考察できる資料も充実しているので、帝国書院を選定するのが良いと考えている。</p> <p>・2者の比較ということでは、帝国書院が良いと思う。細かい点ではあるが、地図を読む上で大事な情報である縮尺が、各ページインデックス部分に見やすくはっきりと表示されている。また巻末には、領土、領海、領空の定義を文字だけでなく、視覚的に理解できる図を掲載するなどの工夫が見られる。アイヌ語地名も28か所について地図上に示して紹介している。そして、「地図で発見」の問いがとても洗練されており、地図分野に留まらない幅広い問いとなっていることから、教科横断的な学習に繋がるのが期待できるので帝国書院を選定したい。</p>
<p style="text-align: center;">数 学</p>	<p>・各者とも学習指導要領の総則や数学科の各学年の目標を達成できるように工夫された学習活動で構成されていると感じる。その中でも教育出版は、全学年を通じて学習意欲を高め、主体的に学習に取り組めるよう『子どもの“問いをもって学び合う”ことの連続による「学びのサイクル」を位置付け、主体的・対話的で深い学びの授業展開を実現している。』ほか、学習内容が系統的・発展的に構成、排列されている。さらに学年の分量も適切で、学校や生徒の実態に応じて弾力的に指導ができるように工夫されているほか、ユニバーサルデザインの採用、人権・多様性の尊重といったインクルーシブ教育への配慮がされており、さらにはデジタルコンテンツである学びリンクを設けて、デジタルの力で学習活動を豊かに、そしてわかりやすく学習を支援する配慮がなされている。以上のことから教育出版が優れているのではないかと思う。</p> <p>・各者とも大変工夫されているが、その中でも教育出版が良いと思う。オールオホーツクで進めてきた授業改善を継続する上で、継続して使用した方が良いと思うことと、ストーリー性のある学びのプロセスにより、問題発見・解決の過程を意識することができ、主体的な学びにつながると思う。節ごとに基本の問題があり、章の終わりには「学習のまとめ」や「章の問題」が繰り返し設定され、基礎基本の学びには有効的と考える。また、「学んだことを活用しよう」「数学しごと人」「数学の広場」は、数学への理解を深め、興味関心を高める内容になっていることなどから教育出版が良いと思う。</p>

理科	<p>・5者とも内容については大きな差はないと感じたが、教育出版が優れていると感じた。理由としては、巻頭に基本的な学び方の学びの進め方を掲載し单元ごとに学んでいくことの流れがわかりやすく掲載されていることや探求の進め方の順序を丁寧に説明し探求の各過程をマップで取り次ぐことなど工夫されていることがあげられる。最後に、これからデジタル教科書と電子黒板というパターンで授業が進められることが多くなると思うが、各社のホームページでデジタル教科書のサンプルを探したところ、東京書籍と教育出版の2者しか見つけられなかった。この2者を比べると教育出版のデジタル教科書のサンプルが機能的だったと感じた。</p> <p>・各者とも、内容に大きな差はなく、生徒が意欲的に取り組めるような興味・関心を引く工夫がされている。その中でも教育出版については、身近な生活体験や自然現象から生徒が主体的に疑問を見つけて、調べてみたくなるような活動が設定され、他者との話し合いや生徒が発表する場面へ繋がるような工夫がされている。また、理科の学習と日常生活の関連を気付かせるような科学読み物が掲載されるなど、生徒の学習意欲が高まる工夫もあることから、教育出版が良いと考える。</p>
音楽	<p>一般</p> <p>・各者それぞれに特徴があるが、2者を比較し、教育出版が良いと考える。「主体的、対話的な学び」の実現に向けた学習活動が、計画的に進められる配慮がされており、そのうえで音楽に親しみ、楽しむ工夫がされている。また、色鮮やかな図表や挿絵、写真がバランスよく配置されており、エピソードやインタビューなどもその場面などに適切に掲載されており、全体的に生徒の興味を引く工夫がされている。さらには、一人一台端末による学習活動への配慮として二次元コードの掲載やデジタルコンテンツが豊富にあり、効果的に活用できる工夫がされていることなどから、教育出版が良いと考える。</p> <p>・各者とも音楽文化との関わりのある音楽を愛する心をはぐくむ工夫がされており、自ら音楽を楽しみ表現する技能を身につけられるようになっていると思うので、各社の大きな差はないと思うが、中でも教育出版の方が表現と鑑賞のバランスや活動の仕方がより分かりやすく楽しく取り組める工夫がされていると思うので教育出版が良いと思う。</p>
器楽合奏	<p>・音楽一般についても教育出版が採択されたので、音楽一般とのつながりということも踏まえ、器楽についても教育出版が望ましいと考える。さらに教育出版は、楽器の演奏法が段階的に身に付くよう、詳細に図解で示したり、楽器の構え方などが写真でわかりやすく掲載されていること、また、和楽器の取り扱いも、他社に比べて多く扱われており、郷土の音楽の良さや愛着を持つことができるよう工夫がされていることから、教育出版が良いと考える。</p>

美術	<p>・各者とも大きな差はないと思うが、日本文教出版の方が多様な表現方法が詳細に解説されており、材料や道具の使用方法についても詳しく説明されていることや図表や写真、イラストが効果的に配置されている。また生徒の興味を引くようなカラフルで魅力的なデザインが施されていたり資料動画や作品スライドショー基本解説動画などすべての二次元コンテンツはシートに応じた個別最適な学びに対応した、共同的な学びに活用できる内容となっていることから日本文教出版の方が良いと考えている。</p> <p>・各出版社とも内容はそれぞれ工夫されているものの、日本文教出版は二次元コードの内容が一番充実しており、1年及び2・3年上下の3冊構成といった分量が扱いやすいと思う。また、全学年の随所で、造形的な視点を示すなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされているので、引き続き日本文教出版が良いと考える。</p>
	<p>保健体育</p> <p>・各者とも学習指導要領の総則及び各学年の目標を達成できるよう十分工夫された学習活動で構成されていると思う。中でも東京書籍は、見開き構成で1見開きを1単位時間とし、左側に本文、右側に資料、二次元コードは右下と統一されたユニバーサルデザインで学びやすい紙面で、「見つける」「学習課題」「課題の解決」「活用する」「広げる」といった学習の流れが明確で生徒が見通しを持って学習に取り組める構成になっている。さらに、日常経験などから学習課題につながる発問を設定するなど学習意欲を高める工夫がされているほか、動画や思考ツール、シミュレーション、などデジタルコンテンツを多く取り入れて生徒が思考・判断・表現しやすく学びを広げる工夫がされている。以上のことから東京書籍が良いのではないかと思う。</p> <p>・各者とも、大変工夫されているが、その中でも「東京書籍」が良いと思う。巻頭口絵で「SDGs」「テクノロジーの変化」「情報の活用」が記載されており、生徒の学習意欲を高める工夫がされている。また、日常体験や既習事項をもとに、考える・話し合う学習活動を位置づけ、習得した知識・技能を活用したりするなど、主体的な学習につながる工夫がされている。さらには、「巻末スキルブック」で命と健康を守るために必要なスキルをいつでも確認できるようになっており、生涯にわたって役に立ち、生きる力を身に付ける工夫がされていることなどから、東京書籍が良いと思う。</p>
技術・家庭	<p>技術分野</p> <p>・各者とも工夫されており、調査・研究結果からも大きな差はないという印象であるが、実践的・体験的な学習活動を通して、生活をより良くしようとする意欲を引き出し、自ら問題を見だし、課題を設定して解決を図ることができるよう工夫されている点では、開隆堂がより優れていると考える。</p>
	<p>家庭分野</p> <p>・技術分野とも重複する部分もあるが、各者とも工夫をされており、調査・研究結果からも大きな差はないという印象であるが、実践的・体験的な学習活動を通して、生活をより良くしようとする意欲を引き出し、自ら問題を見だし、課題を設定して解決を図ることができるよう工夫されている点では、開隆堂がより優れていると考える。また、義務教育学校や小中連携が増えている中、小学校と中学校の教科書の繋がりを無視できないという観点からも、引き続き開隆堂が良いと思う。</p>

<p style="text-align: center;">外 国 語</p>	<p style="text-align: center;">英 語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各者とも学習指導要領の総則及び外国語科の各学年の目標を達成できるように継続性や発展性を十分工夫された学習活動で構成されていると思う。中でも開隆堂出版は、充実したデジタルコンテンツで自律的な学習活動をサポートし、自ら学ぶ生徒の育成のために意欲的に取り組み、学習意欲を高める工夫がされているほか、主体的に学習に取り組む工夫としては、本文のリスニングやリーディングに目的意識を持って取り組むことができるように工夫されている。さらに、内容の構成や排列についても4技能5領域が系統的、発展的に学習できるように工夫され、基礎・基本を確実に定着させ、知識・技能を習得し、思考力・判断力・表現力を育成する単元の流れとなっている。これらのことから開隆堂出版が良いのではないかと考える。 ・各者とも大変工夫されているが、その中でも開隆堂出版がよいと思う。紙面構成では、登場人物を統一し、ストーリー性を持たせており、「Coffee Break」などでは、英語に興味関心が持てるように工夫され、「英語早わかり」や「CAN - DO リスト」などで、自分で学習内容を確認でき、到達度が分かりやすいため、復習しやすくなっている。さらに、小学校との接続も考慮されていることから開隆堂出版が良いと思う。
<p style="text-align: center;">道 徳</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・今回の道徳教科書について、各社とも内容において大きな差はないと感じた。「人権について、考えることを重点に正面から人権を扱っていること」「差別・尊厳・多様性・尊重により、自分も他者も大切に感じる感覚を養う教材となっていること」「ユニットを設け、各学年3つの教材とコラムで構成され集中して学べる事」「どうすれば自分も周りの人もより良く生きられるのか生徒が自分自身で考える教材になっていること」「なんでだろう、なんでだろうで問うことの楽しさを感じられる工夫があること」が、わかりやすく、現在のキーワードである「SDGs」や「ウエルビーイング」について、生徒が見通しをもって学習に臨めるよう工夫されている点が、一番良いと思う光村図書が良いのではないかと思料する。 ・各者とも、学習意欲を高め、主体的に取り組む工夫は見られるが、光村図書は自分から学びたくなる構成となっており、「いじめを許さない心について考える」ユニットが全学年に設けられるなど、いじめ問題を多く取り上げ、また、情報端末における情報モラルについて、生徒の身近な問題を通して、道徳的価値について考えることができることから、光村図書が良いのではないかと考える。